

ベトナム北部における脳卒中センターの遠隔診療を活用した地域連携支援 およびチーム医療体制強化事業

- ベトナムでは、近年の著しい経済発展による生活習慣の変化に伴い、死亡原因の7割を非感染性疾患が占めている。その第一位は脳卒中であり、毎年約10万人が命を落としている。
- 2015年からNCGMはバックマイ病院と連携し、脳卒中患者に対するチーム医療の導入をすすめ、患者登録システムの確立、嚥下評価法の開発や、早期リハビリテーションの実施、とろみ剤を用いた嚥下食の導入などを行ってきた。バックマイ病院は、2020年11月に脳卒中センターを設立し、日本企業による病院間連携ソフトを導入した。今年度は連携ソフトを活用し、オンラインによる遠隔診療を活用した地域連携支援、チーム医療体制の強化を行う。
- 期待される成果
 - 成果1： NCGMとバックマイ病院の脳卒中センターが、オンライン会議を行い、12月までにバックマイ病院における脳卒中患者へのアプローチ手法を確認する。
 - 成果2： NCGMとバックマイ病院の脳卒中センターが、オンライン会議を行い、12月までにチーム全体で共通して活用する臨床評価指標を決定する。

